ドイツ連邦食料・農業省　　農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 3
2022・5・9

1　2022　食品・飲食業向け国際見本市がケルンで開催

ー食品・飲料の安全性、デジタル化技術などの革新をー（2022・4・26）

アヌガ・フードテックの公式サブタイトルは、「食品及び飲料業界向けの国際サプライヤーフェアー」である。この見本市は食料・飲料業分野の革新のために、ケルンで 3 年に 1 回開かれている。今日（4 月 26 日）連邦食料・農業大臣オズデミールが訪れた。

オズデミール食料・農業大臣

農作物を基礎とした飲料業分野における技術革新と、食料供給チェーンのより多くの持続可能性のための改革を、見本市ツアーで個人的にも目にすることができる。連邦大臣オズデミールは、見本市訪問に関連して述べた：”ウクライナにおける戦争のために言い逃れはできない。他の危機は棚上げして、今必要な改革についてブレーキかけるか､または全くストップさせることはできない。ドイツにおいて今、年間 1 200 万 t の食品が投棄されている間に、気象危機による飢餓の苦しみを招いている（例えば、南スーダン)。

そのため、将来の食料システムのために、規範となる考え方の構築とその普及が必要になっている。持続的な生産と開かれたサイクルへの変化、そのため我々は実践においても機能する革新と賢い考え方を促進する。私はこの見本市の中で多くのことを知ることができた。”

背　景：

アヌカ　フードテックは、通常 3 年 1 回ケルンで開催される。この見本市は、グローバルな見本市として、国際食料品―飲料工業に刺激を与えている。ここでは、テクノロジービジョンと現在の革新分野を紹介する。

食品の充填―包装技術から、食品の安全のためのテクノロジー技術による、包装原料からイントラロジステイクス（工場内物流）までの新技術を展示している。

アヌガ フードテックの会場

企業関係者、消費者の関心高く沢山の人が訪れた

食品の無駄を無くすための資源の効率的な利用促進のためのパッケージロボット

見本市会場内の風景

２ ロットマン政務官：ドイツのビール醸造所に連邦名誉賞を授与
―ビールで地域の価値創造チェーンの強化に貢献―　（2022・4・26）

連邦食料・農業省政務官 Dr.ロットマンが、連邦食料・農業省の表彰状を授与した。Dr.ロットマンは、今日（4 月 26 日）ベルリンにある、ザールラント州代表部において、ビールの連邦名誉賞を授与した。ドイツの醸造所が手にする最高位の表彰である。

ロットマン政務官

この表彰状授与は、ドイツ農業協会（DLG）副会長の Dr.デイードリッヒ　ハームズとともに実施された。この表彰について Dr.ロットマン政務官は述べた

：”今日表彰された高品質ビール醸造所は、地域の価値創造チェーン強化のために、貢献している。これはまさに小ー中規模企業が持続的な生産と、販売に責任をもち、そしてエネルギー、水の節約で醸造のために研究し、一方、醸造用穀物の残さを、他の産物に回し効率的な利用を実現している。私はこのことに感銘を受けた。”

2022 年度の表彰は、有限会社・城館ビール醸造所　マックス レイン（バイエルン州）を含め、12 のビール醸造所に対して授与された。

背　景：

2008 年以来、毎年表彰された醸造所は、ドイツビールの高品質基準に合致している証明である。検査のために申請されたビールは、DLG によって分析され、そしてセンサーで専門家の評価を受けて、表彰対象か否かが決定された。

受賞会社・城館ビール醸造所職員一同

城館前でのビール祭

３ オズデミール大臣：ヨーロッパは森林管理の概念と加盟国の現状を配慮
ー炭素蓄積能力をもった木造建設の促進ー　（2022・4・29）

連邦食料・農業大臣オズデミールは、今日（4 月 29 日）ベルリンでのドイツ林業評議会の EU ーシンポジューム「森と政策が出会う」を開催した。

木造建築連邦コンクール・パビリオン
2020 年度受賞・シュットガルト大学

これについて大臣が説明した：森林は世界のエアコンである。多くの絶滅危惧種の避難所であり、そして我々の貴重な再生可能原料（木材）の供給者である。グローバルな気象ー生物多様性の危機に直面して、EU もこのテーマを、目標の上位にランクしている。

森林の増大する貢献をさらに可能な限り積極的に具体化すべきである。
ブリュッセルにおいて調整されている環境政策について、連邦政府もまた国境を越えて強化された共同活動の必要性を、強く感じている。その際、加盟国とその地域に適応した森林管理構想を、配慮すべきである。気象危機は、我々にとって真の脅威を意味している。森林は、同時に気象危機に対する闘いの際に、我々の最も重要な「連帯者」である。このため、EU における共通の焦点は、適応力と抵抗力であり、そして多機能な森づくりである。

オズデミールは、ヨーロッパにおける森林保護のための大臣会議の先導者として、2022 年 8 月 30 日の開催行事「ハイレベル一政策対話」に、関係国大臣の招待を公表した。この際のテーマは、管理している森林の生物多様性の保持を予定している。連邦政府は、EU 中の樹齢が古く価値多い森林保護のための努力を支援する。そして需要な炭素蓄積者として、現地の生態系多様性の場と同時に、地域の重要な原料源と将来的に再生可能な原料の木材活用を考慮すべきである。

森林所有者が様々な挑戦に直面しており、そのため連邦政府は尽力する。ドイツ全域でも森林所有者の取組みに対する、適切な報酬システムを検討しなければならない。連邦政府のこの提案は、2022 エネルギー気象基金並びに 2026 年半ばまで、個別プランの中に 9 億ユーロ（約 1 170 億円）を計画している。

炭素蓄積し再生可能資源の木造ハウス

森の中の植物と昆虫を学ぶ

森の可愛い主

4 オズデミール大臣：ウクライナ戦争の農業への影響を緩和する支援政策

ー EU 危機積立金から農業経営に 1 億 8000 万ユーロ支給ー（2022・4・27）

連邦政府はエネルギー集約型の農業経営に対して、EU ー危機積立金からの支援近を、3 倍化して集中的に支援する。連邦政府は今日（4 月 27 日）補正予算のための政府草案を決定した。オズデミール大臣は、ウクライナ戦争の影響に対する支援政策のために、1 億 2 000 万ユーロ（約 156 億円）を、補正予算として予定している。

EU 初めての女性委員長
フォン・デア・ライエン（ドイツ）

オズデミール大臣：”ウクライナに対するロシアの侵略戦争の影響を、我々は至るところで痛切に感じており、それは農業者も同じである。特に著しく高騰しているエネルギーコストは、多くの経営にとって負担になっている。これはプーチンが望んでいることである。この圧力を強化し、そして不安を呼び起している。

我々は、今日喜んでいる。連邦内閣が、ブリュッセル（EU）の危機積立金を、最大限 3 倍の最高額とする私の提案を取上げて決定した。正直なところ、私はもっと多くの危機積立金を望んでいたが、しかし、法的に限度が設定されている。今重要なこと。それは議会の同意をもって、支援を早急に最高額にもっていくことである。その際、私は議会がなお補完的な財源を、ドイツの漁業についても、準備することを望んでいる。つまり、高騰する燃料コストを背景に、この支援を可能にすることを。”

危機支援は、全農業経営が得ることが出来る予定である。この支援金を得るのは、特にエネルギーを集中的に使用する経営である。例えば、家畜飼育と果実ー野菜栽培である。ウクライナ戦争の影響を緩和するために、EU ー委員会は加盟国全体に 5 億ユーロ（約 650 億円）を、危機積立金から支出する。

配分の基準に則って、ドイツには 6 000 万ユーロ（約 78 億円）が支払われる。各加盟国は、EU から配分された財源に、国内上乗せで 2 倍にすることができる。加盟国は、高騰する経営コストまたは販売制限の結果、市場障害に該当する分野にこの資金を投入できる。

加盟国は、どの分野にこの資金を充当するのか。その際、市場障害の規模を配慮する。これは各加盟国に委ねられる。連邦食料・農業省は、適切な危機対策を講じ、そして GMO（遺伝子組換え作物）規定の 219 項によって、1 億 2 000 万ユーロ（約 156 億円）まで増額を使用でき、ドイツ政府はこのことも意図している。

ロシアからの天然ガス輸入は 55%
温室の熱源として利用も多い

ロシアからのガスパイプライン・ステーション　　ノルトストリーム I

4 保育園の給食：全ての園児に栄養基準に基づいた健康な食事を提供
ーさらに高齢者施設・病院など５つの栄養基準を普及ー（2022・5・3）

2022 年 5 月 3 日に「連邦保育園給食の日」が開催された。これは連邦食料・農業省が、2018 年にイニシアチブをとっている。2018 年だけでドイツ園児 230 万人が昼食を摂った。全ての全日制保育園における健康な給食が重要である。

保育園児の栄養教育

両親、教育者、子供達そして給食提供者は、保育園の給食改善を強く推進している。「保育園の給食ネットワーク」は、各州によって様々な取組みを実施している。例えば、専門講演会、ワークショップそしてセミナーが、数多く保育園と共同で実施している。保育園と学校における国内栄養品質センター（NQZ）が、各州での行動をインターネットサイトで継続的に現実化している。

その際、連邦食料・農業省はこのネットワークセンターを支援している。

保育園においてドイツ栄養協会（DGE）の保育園での給食の品質基準を取り入れている。

連邦食料・農業省は、2019 年と 2020 年の期間に、各州で保育園―学校給食ネットワークセンターのプロジェクト関連活動に対して、連邦奨励金を年間 200 万ユーロ（約 2 億 6 000 万円）と倍化している。ドイツ栄養協会―基準は、保育所の給食の基礎である。保育所は 3 歳以上の児童をケアーしている（U3-世話）。保育園の子供達に健康な栄養を提供することが、増々重要になっている。

この際、ドイツ栄養協会の給食品質基準が助けとなる。連邦食料・農業省は、2007 年にドイツ栄養協会に対して、共同給食のための品質基準の開発を委託した。そしてこれまで保育園、学校、企業食堂、病院そして高齢者施設における給食のために、5 つの品質基準が策定された。

2018 年から 2020 年の間に、公的証明を持った施設において、これまでの品質基準を改訂し、そして一般的に公開するために、ロゴ並びにロゴマークが使用される。これは本格的な給食を提供するためである。これまでの経験が示している：つまり、両親が子供の保育園を選択するために、重要な決定基準に関して、かなり高い割合での給食提供に際して、継続的に安全な品質を求めていることを示している。

ネットワークセンターを通じた栄養基準の広範な普及

各州において保育園の給食のために、13 のネットワークセンターが設立された。これは 2008 年以来、連邦食料・農業省のイニシアチブで実現したものである。このセンターは、情報ーアドバイス提供、そして子供のために保育園の周囲における関係者を結び、そして給食の品質対策を提供する。各州ネットワークの関係者は、団体、DEG の部門担当者、消費者センター、州の関係者等である。

保育園担当者、両親、料理サービス業者などが、以下の課題について取組む：DGE ー品質基準の普及、実践プロセスの策定、給食計画の作成、並びに健康奨励上の持続的な給食提供

このネットワークセンターは、仲介マネージャーとして活動する。

「IN FORM ドイツ 健全な栄養とより多くの運動を」は、保育園の給食の日の主導者である。このイニシアチブは、2008 年に連邦食料・農業省並びに連邦保健省が創設した。これ以来、「健全な栄養とより多くの運動を」のためのプロジェクトパートナーとともに、連邦全域で活動している。

「良い食事を沢山に」と保育園のアイデアーボックス、そして「クリシュメルとクレッシ」（訳注・保育園の栄養教育活動）、パン粉と魂が、保育園のバランスある栄養について、IN FORM が活動を支援する。

5 つの栄養品質基準ー保育園・学校・企業食堂・
病院・高齢者施設で栄養バランスのとれた昼食を

栄養基準に即した昼食を食べる保育園児

そしてより多くの運動を

5　保育園給食の日：健康で持続的な栄養に焦点を　　（2022・5・3）

ー連邦食料・農業省、連邦家族省の政務官が保育所を訪問ー

連邦家族・高齢者・女性・青少年省と連邦食料・農業省の両政務官が、ブランデンブルグ州の保育園を訪れた。

連邦全域での「保育園給食の日」に関連して、連邦食料省政務官のマヌエラ　ロットマンと連邦家族省政務官のエキン　デリゲス、そしてブランデンブルグ州社会問題・健康・統合・消費者保護省の国務長官アンナ　ヘイヤー　スタッファーが、ブランデンブルグ州の保育園　クライン&グロスを訪問した。

両政務官と園児たち

この行動日は、2022 年に既に 5 回目の開催となった。昼食時に政務官は、共同の食文化から独自の印象を受け、そして食事への要望について園児たちと交流した。園児達のために DGE の基準によって、健康な持続的な栄養でもって料理されている。園児たちも料理の選択に際して、一緒に決定できる。ドイツは、DGE 一品質基準に関して EU で先駆者である。

マヌエラ ロットマン政務官：”我々の子供達と青少年は、保育園と学校において、気分良くそして健康で持続可能な食事を摂ることができる。これは例えば、有機生産されたテーブルの上の食事を、もたらすことに成功している。私は保育園と学校の責任者に、DGE 一品質基準の実践を、緊急にアピールする。
なぜならば、健康でそして持続的に保育園一学校給食から、両親の教育レベルと財布に関係なく、園児達が利益を得るからである。

共同の食事時間は教育活動のために重要であり、そして過小評価されるべきでない。子供の日の給食における良い栄養と栄養教育は、子供達のための広範な奨励の一部分である。良い品のさらなる多くの視点でもって、一緒に健康な成長のための礎石を築く。そのため、保育園の建設だけに投資するのでなく、教育一ケアーの提供の品質発展においても同様である。”

アンナ ヘイヤースタッファー政務官：”多くの子供達は、多くの時間を保育園で過ごす。健康で持続可能な栄養をここで知り、経験すること。そして栄養基準と美味しいものを一緒にすること。そのため、このことは一層重要である。ブランデンブルグ州において、現在栄養戦略を策定している。これは小さな子供の年齢（3 歳の幼児から 6 歳まで）において、健康な生活に向けたスタートであり、この中には正しい栄養知識が含まれている。”

背　景：

保育園一学校給食の栄養上の品質改善のために、連邦食料省（BMEL）は、連邦全域の保育園給食の日を推進し、州とともに保育園―学校給食のためのネットワークセンターを設立し､保育園と学校で健康な給食提供を支援している。
給食提供の組立てに際して、保育園と学校を支援している。給食のテーマの広範な情報を提供し、そして継続教育の実施を組織化し、保育園と学校への助言のための資格を有する専門家が、仲介の労をとっている。そして管轄機関、経済分野の関係者、担当者、運営者並びに教師と両親との間のネットワークを構築する。
連邦政府は、プロジェクト奨励を通じたネットワークセンターと、保育園と

学校における栄養に関する国内品質センター（NQZ）を支援している。この政策とイニシアチブ・健康と持続可能な食事を、保育園、子供の施設と学校において、連邦レベルで調整し、さらに発展させる。この際、中心点は、常に持続的に健全な給食と園児のための専門知識の奨励におかれている。

2019 年に施行された「優れた保育園一法」の発効でもって、政治的な中心の連邦のイニシアチブで、各州の政策が高価値な、そして健康でバランスのとれた栄養を、保育園で奨励される。この法のもとで管轄する連邦大臣が、保育園での給食と栄養のために、密接な共同活動を行う。そして幼児教育における給食と栄養を総合的に注視し、これを可能とする。

ドイツ栄養協会の給食品質基準に沿った昼食を自分たちでつくる

栄養的にバランスのとれた給食とより多くの運動を

6 危機にあるドイツのバルト海漁業支援のための政策パッケージを決定
ーバルト海の漁業を回復するための将来委員会の設置ー（2022・5・6）

連邦食料・農業省は、バルト海漁業の危機的な状況のための 2 回目の円卓会議を開催した。同省政務官シルビア ベンダーは、今日（5 月 6 日）にバルト海漁業の将来について話し合うために、沿岸 3 ケ国の政府及び漁業団体の代表者を円卓会議に招いた。第 2 回目の円卓会議に際して連邦と関係州は、共同の将来政策を策定するため、「将来委員会」を設置した。この委員会の領域において、実現可能な将来構想を発展させる。

ニシン、タラが危機的な状況にあるバルト海の漁業

ドイツのバルト海の現況は、漁業者の生活の糧となる「パン」ともいうべき、ニシンとタラについて、極めて厳しくなっている。これについて政務官シルヴィア ベンダー：”我々の一連の政策パッケージでもって、漁業者支援のための最初の重要な一歩を踏み出した。バルト海の魚の厳しい現況に直面して、早急な取組みが必要である。私は非常に具体的な結果を策定した、円卓会議に参加したあらゆる人に感謝したい。

我々はウクライナ戦争の影響に対する支援政策も、これからの補正予算の分野において、より多く準備をしたい。我々はここで連邦農業省の適切な財源投入を実現したい。バルト海漁業の重大な現況に配慮して、さらに政策を続行する。

メクレンブルグーフォアポーメルン州気象保護・農業農村地域省政務官エリザベス　アスマン：”私はこの政策パッケージを非常に歓迎する。さらに今早急にこの委員会とともに明らかにする。経営に関連した方向性も EMFF（ヨーロッパ海洋ー漁業基金）と EMFAM（ヨーロッパ海洋ー漁業ー養殖漁業基金）も、暫定的な操業停止補償のために投入される。”

メクレンブルグーフォアポーメルン州は、このため既に EMFAM からの財源を先取りできる。同時に西部バルト海におけるニシンの保護対策でもって、8 月から 10 月までの期間内で実施する計画を始めた。そして漁業経営には、これから補完財源を、この基金から 2022 年における休業補償の形で早急に可能となるよう、行動する。

ニーダーザクセン州食料・農業・消費者保護省国務長官 Dr. 教授ルードビッヒ　テウフセン：”バルト海における漁業の状況は、当面全体的に非常に厳しい状況になっている。この円卓会議で決定された短期政策を伴った政策パッケージは、バルト海漁業の将来のために、重要な貢献を果たす。ニーダーザクセン州は、バルト海漁業に対してこの政策で支援し、将来的な観点のもとに発展することを支援する。今日決定された政策パッケージは、以下のとおりである

- 一時的な操業停止に際しての財政的な支援の増額
- 漁業を主業とする経営の定義を通じて、奨励可能な権利の拡大
- 2021 年に導入した船のスクラップを通じた漁獲割当量（配分）のための新しい規定で合計 1000BRZ（総トン数）の船をスクラップ
- 船のスクラップによる漁獲割当量の特別規定における新たな漁獲量

短期的な処理対策が、補完的に開始される。それに伴って漁業経営が漁船を自らの船団から除外し、割当量に結びつける。これは経営における重要なコスト節減となる”とシルビア国務長官は述べた。

ドイツのバルト海漁業将来委員会は、短期間（夏休み前）に設立する。同時に 2023 年までの漁業統合のもとに、市民社会とさらに地域グループの代表者が、危機に遭遇しているドイツ漁業の将来のために、共同の視点でバルト海漁業を発展させる。このことからさらに進める構造改革の手掛かりと、ドイツバルト海漁業の方向性を見出す。

バルト海からニシンが消える？

苦境にある漁師の船小屋

２０２２・５・８　訳
青森中央学院大学
地域マネジメント研究所
中川 一徹